

学校図書館との多様な連携により生徒の学びを深める授業実践

鳥取県 鳥取県立琴の浦高等特別支援学校

基本データ

所在地	東伯郡琴浦町赤碕 1957-1
児童生徒数	112人
教職員数	72人
蔵書数	4,799冊
年間貸出冊数	8,562冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】授業改善、教員による利活用の推進

【活動のねらい】

- 学校のミッションや知的障がいのある生徒の実態とニーズに対応した環境整備や図書の選書、学校図書館を活用した授業支援を進めることで、各教科等における生徒の学びを深める。

取組・活動の概要

【対象学年】高等部1～3年

【対象授業】知的障がい特別支援学校の普通教科・専門教科全般

【時期】年間を通じて実施

- 知的障がいのある生徒にとって分かりやすい環境整備を図った。
- 学校や生徒の実態とニーズに合った図書の選定や授業実践を行った。

(1) 環境整備

- 鳥取県立琴の浦高等特別支援学校は、平成25年に開校した、知的障がいのある生徒を対象とした高等部のみの特別支援学校。キャリア教育に重点を置き、生徒の一般企業への就労や地域貢献をミッションとして教育活動に取り組んでいる。
- 設立当初は、生徒の地域生活を踏まえ、公共図書館をイメージした環境整備に取り組んでいたが、生徒が課題解決に向けて自ら情報を収集し、選択・統合し、考える力を高めるため、環境整備の方針をシフトチェンジし、知的障がいのある生徒にとって分かりやすい環境整備と実態やニーズに合った図書の選定に努めることとした。
- 具体的には、十進法分類表や館内図を入り口近くに掲示し、図書の配置全体を把握できるようにした。
- 十進法分類表（全体掲示）は分類ごとに色分けし、書架の上に置いた分類プレートと同色にした。

- 書架には分類を細分化した表示も加えた。

<知的障がいの生徒に分かりやすい環境整備>



知的障がいの生徒に分かりやすい環境整備

- このような工夫により、生徒が自力でかつ素早く探したい図書にたどり着けるようになった。
- 図書の選書は、学校や生徒の実態とニーズに合ったものになるよう、各教科等の年間指導計画や教員・生徒の声を参考とした。
- 一般就労をめざす生徒にとってニーズの高いコーナー（就職、自立生活、地域生活、余暇等）を充実させ、別置した。
- 知的障がいのある生徒にとって分かりやすい図書（文字情報の量や表現、挿絵や画像の量）を選ぶようにした。

<生徒の実態や教育的ニーズに合った選書>

- 一般就労をめざす生徒にとってニーズの高い図書を多く選書（就職、自立、地域、余暇等）
- 知的障がいのある生徒にとって分かりやすい内容（文字情報の量や表現、挿絵や画像の量）



生徒の実態や教育的ニーズに合った選書

(2) 授業実践

- 司書教諭と学校図書、教科担当者が連携し、普通教科・専門教科併せて年間 500 時間を超える授業支援を行い、各教科等における学校図書館の効果的な活用がなされた。
- 一般就労に必要な力を实际的・体験的に学ぶ専門教科においては、学校図書館との多様な連携により授業実践を行った。

【食品衛生コース・サービスコース】

- 学校図書館を活用して、パンや季節のスイーツの開発、カフェのインテリアの改善を行った。収集した情報から顧客のニーズに合ったものを選んだり、生徒同士で話し合って解決したりする力が高まった。



授業の様子 食品衛生コース・サービスコース（カフェで提供するパンやスイーツの開発）

【流通コース】

- 学校図書館と連携して、学級文庫の各学級への配布・入替・回収作業や、学校図書館で使用する物品（事務用品やポップの材料等）の発注・納品を行っている。



授業の様子 流通コース（学級文庫の各学級への配布・入替・回収作業）

- 月 1 回鳥取県立図書館のセット貸し出しの図書（約 100 冊）のバーコード作成も行う。
- 継続して取り組むことで、商品管理する力が高まった。

【ビルメンテナンスコース】

- 清掃サービスの提供場所として学校図書館を活用し、公共図書館を想定して書架や閲覧スペースの清掃に取り組み、清潔で明るい学校図書館の環境づくりに寄与した。



授業の様子 ビルメンテナンスコース（学校図書館の清掃サービス）

- 授業を通して学校図書館の運営に携わることで、図書館への関心が高まり、利用の増加につながっている。

取組・活動の工夫や特徴

- 司書教諭と学校司書が、積極的に教科担当者と情報交換し、授業のねらいや生徒の実態から図書や資料のニーズを把握したり、学校図書館のより効果的な活用を提案したりした。
- 各教科等の年間指導計画を参考にして、学校図書館の年間活動計画に各月の授業支援（学年・教科等・単元名）を記載した。
- 学校図書館の利用予約簿を、学校図書館だけでなく職員室にも設置し、手軽に利用の申込ができるようにした。

取組・活動の成果や今後の展望

- 司書教諭と学校司書の定期的な会により、成果等を共有している。
- 学校図書館を活用した授業回数が増加した。
平成 27 年度 156 回
→平成 30 年度 544 回
- 各教科等において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が図られた。